

## ホ°レジオ【血液】療法

### 注射薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		リル・コ-テフ注	副作用予防(過敏反応)のお薬です
2		ホ°レジオ注	治療のお薬です。約2時間かけて点滴します。

### 内服薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		ホ°ラミン	副作用予防(過敏反応)のお薬です。
2		加ナル細粒	副作用予防(過敏反応)のお薬です。

### 投与スケジュール

薬品名	日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ホ°レジオ点滴静注20mg		↓							↓							↓							↓						
薬品名	日数	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
ホ°レジオ点滴静注20mg		↓							↓							↓							↓						

投与間隔：1週間に1回。

合計：8回行います。

## ポテリジオ療法【血液】

## よく起こる副作用

## ★血液毒性

**発生時期** 2日目頃から発現します。

**症状** 血液中の赤血球、白血球や血小板などが減少することがあります。白血球数が減少することにより感染症にかかりやすくなるため、発熱や喉の痛みなどの風邪のような症状があらわれることがあります。

**対処法** ○感染対策で最もポイントとなるのは、患者様自身の感染予防のセルフケアと感染の早期発見です。感染症をおこさないように、人ごみを避け、こまめにうがい、手洗いを行いましょう。白血球は一時的に下がっても、その後回復します。  
○貧血では症状の自覚のないまま、転んだりして事故を起こす危険もあります。日常生活では十分な休養をとりましょう。また、いきなり動かず、動き始めはゆっくりとするように注意して下さい。  
○血が止まりにくくなることがありますので、かみそりや爪きりのような鋭いものを使用する際には注意して下さい。打ち身や切り傷を作るような行為や激しい運動は控えるようにしましょう。歯ブラシも柔らかいものを使いましょう。  
○症状に応じて、薬剤の投与や、輸血をする場合があります。

## ★過敏反応（インフージョンリアクション）

**発生時期** 薬剤投与中～投与開始後24時間以内

**症状** 発熱、疼痛、ほてり、頭痛、頻脈・心悸亢進（心拍数が著明に亢進すること）、血管浮腫（舌・喉のはれとして認められることがあります）、咳・呼吸困難、そう痒（かゆみ）、吐き気、虚脱感、悪寒（震え）、発疹などがあらわれることがあります。

**対処法** ○インフージョンリアクションのおそれがある場合は薬剤の投与前に予防薬を投与します。  
○点滴中、点滴後（特に24時間以内）においても気になる症状が現れた場合には、すぐに医師や看護師・薬剤師に知らせてください。

## ★皮膚症状

**発生時期** 治療を重ねていくうちに症状があらわれることがあります。

**症状** 皮膚全体が赤くなったり（紅皮症）や、少し盛り上がったような発疹（丘疹）が体の一部または全身に出現することがあります。痒みをともなうこともあります。

**対処法** 症状に応じて軟膏や、かゆみ止めの内服などを使用します。

## 頻度は少ないが注意を要する副作用

## ★その他

**症状** 肝障害、腫瘍崩壊症候群など

## その他の副作用

## ★その他

**症状** 食欲不振、悪心、倦怠感、味覚異常など

**対処法** 症状に応じて対症療法を行います

副作用は薬剤ががん細胞を攻撃するときの一部の正常の細胞にも影響を与えてしまうことにより起こるものです。

もちろん正常な細胞は治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。

**副作用の出かたや、程度は個人によってさまざまであり、副作用の全てが現れるとは限りません。**

大事なことは予想される副作用を十分理解し、その対処をすばやく行うことです。そして副作用があらわれた場合はもちろん、それ以外でも気になることがありましたらどんなことでも、主治医や看護師、薬剤師に相談して下さい。

医療法人敬愛会 中頭病院（薬剤部）

